



# ADRC Highlights

Vol.150

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

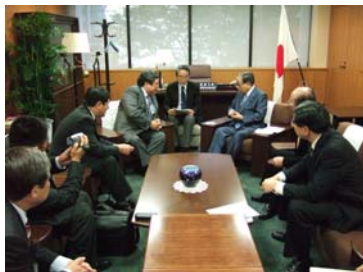
1 November 2006

## ➤ キルギス共和国のための防災研修ツアーを実施

アジア防災センター(ADRC)は、世界銀行の行う災害ハザード軽減プロジェクトの一環として、2006年9月20日から26日にかけて、ルステンベコフ非常事態大臣を含むキルギス非常事態省の防災関係者8名を対象とした防災行政研修を実施いたしました。

中央アジアの山岳地帯にあり、地形や地質、気象現象などが複雑なキルギス共和国では、地震、洪水、土石流、雪崩などの自然災害が多く発生します。

研修ではADRC、人と防災未来センターのほか、内閣府、外務省、国土交通省、気象庁、兵庫県、東京都庁、NHK、皇居、大阪ガス、金閣寺を訪問し、中央政府・予報機関・メディア・地方自治体・民間企業の防災への取り組みについて広範囲に学びました。また、六甲山系での地滑り対策や砂防の現場見学もしました。



キルギス共和国で防災センター設置が計画されていることもあり、内閣府、都庁の防災センター及び兵庫県災害対策センターでは、非常時の情報伝達などに対する熱心な質疑応答が交わされました。

特に今回の研修では、内閣府防災担当大臣、環境大臣、外務副大臣、気象庁長官及び兵庫県知事への表敬訪問が行われ、防災に関する意見が活発に交換されました。日本の歴史建造物の見学では、日本のすばらしい耐震技術に高い関心が示されました。

なお、当研修実施にあたり、快く訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様には、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。当研修につきましては、主任研究員の白鳥([shiratori@adrc.or.jp](mailto:shiratori@adrc.or.jp))または角崎([tsunozaki@adrc.or.jp](mailto:tsunozaki@adrc.or.jp))までお願いいたします。

## ➤ 国際防災オープンフォーラムを10月19日に開催

ADRCは、国連大学(UNU)および内閣府、国連国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、世界銀行との共催、及び外務省、文部科学省、兵庫県、国際協力機構(JICA)、日本放送協会(NHK)、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)の後援により、国際防災オープンフォーラム「災害に強い社会づくりを目指して～防災教育と持続可能な開発を考える～」を10月19日、東京の国連

大学にて開催しました。

2005年1月に兵庫県神戸市で開催された国連防災世界会議の成果である「兵庫行動枠組」においては、効果的な防災リスク軽減活動に関する、今後10年間のための指針が明記されました。今回のフォーラムは、この「兵庫行動枠組」の推進を目的とし、災害に強い社会づくりにおける「学校から防災を始める」といった防災教育の効果、防災におけるコミュニティが果たす役割、また、開発計画に防災を取り入れて災害リスクを軽減することの重要性について関心を高めるために開催したもので、当日は国内外から170名を超える参加者がありました。



NHK 鎌田チーフ・アナウンサーにより進行された同フォーラムは、安井国連大学副学長、増田内閣府政策統括官(防災担当)、鶴岡外務省地球規模課題審議官、板谷文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当)による開会挨拶、そしてプリセーニョ ISDR 事務局長によるビデオメッセージが披露されました。続く講演の部では、国連大学のハンス・ファン・ヒンケル学長およびバングラデッシュ防災センターのサイドウール・ラーマン所長、世界銀行のマリボヌ・プレシ・フレサール交通・都市開発局長による発表があり、防災における教育やコミュニティ活動、インフラ整備の重要な役割について、参加者は聞き入りました。

引き続き、国連広報センター幸田シャーミン所長、ACCU 柴尾教育協力課長、当センター所長の鈴木など6名の講師によるパネルディスカッションでは、内閣府の西川災害予防担当参事官がコーディネーターを務め、防災教育の先進事例や、学校での防災教育が地域の意識啓発に及ぼす効果などについて、参加者を交えて活発な意見交換が行われました。議論の最後には、壮年期の人間が自発的に検診料を支払い、人間ドックを受けるのは、自らの健康リスクを強く認識しているからであり、同様に地震や風水害など自然災害に対してもリスクを認知・把握する必要があることが指摘されました。

なお、同フォーラムの様子は、翌10月20日、NHKのニュースにて放映されました。また、講演内容などについては、当センターHPにて近日中に掲載される予定です。なお、この件についての詳細は、角崎主任研究員([tsunozaki@adrc.or.jp](mailto:tsunozaki@adrc.or.jp))または河内研究員([kochi@adrc.or.jp](mailto:kochi@adrc.or.jp))までお願いいたします。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)